

1 受賞団体・個人の名称

あいちあまのうぎょうきょうどうくみあいえこがかい
あいち海部農業協同組合エコ部会
(愛知県津島市)



(問い合わせ先)

電話:(0567)23-3011

(経歴)

平成15年より食品リサイクルモデル事業を機に、量販店から排出された食品残さと地域の家畜ふんの混合堆肥を利用した土づくりを行い、生産された農産物を量販店で販売する取組を行っている。

(受賞時の経営内容) 野菜 3.5ha、部会員23名

2 生産面の取組

- ①土作りに、量販店から排出された食品残さを利用して製造された堆肥に、地域内で発生した家畜ふんを利用して製造された堆肥を混ぜた堆肥(以下、「混合堆肥」という。)を利用。



混合堆肥

- ②混合堆肥の肥料成分を考慮した施肥や有機質肥料、肥効調節型肥料の利用により、従来と比較して化学肥料施用量を43%低減。
- ③混合堆肥による土づくりを通じて、野菜の根張りがよくなるなど以前より健全な生育が得られるようになり、さらに、生物農薬や防虫ネットの利用、熱利用土壌消毒の技術を導入し、化学合成農薬の使用回数を43%低減。
- ④各部会員が年間多品目を作付ける輪作体系に取り組み、栽培品目数の確保と連作障害の軽減を図った。現在では、1部会員あたり年間2~7品目を出荷する体制をとる。さらに、各部会員が積極的に売れ筋商品の開発に取り組み、品目数は61品目まで増加。

3 経営面の取組

- ①出荷物の取引価格は1週間単位で話し合いを行い、価格を決定。小売りサイドが、エコ部会の土づくりや環境にやさしい農業の取組を評価しており、市場出荷される一般商品の価格より10~15%高く設定されている。
- ②消費者交流や即売を通じて、消費者ニーズの把握に努めており、売れ筋商品の開発に生かしている。また、部会員の出荷調製時間の短縮や鮮度の高い農産物を消費者に届けるためコンテナ出荷にも取り組む。



鮮度重視のコンテナ出荷

4 取組の成果

- ①エコ部会が生産した農産物は、量販店において「食品リサイクルの取組み」「地場野菜」などの表示や生産者の顔写真を掲示した特設コーナーで販売されており、販売店や消費者からの評価は高い。
- ②部会員、出荷品目、販売額は順調に増加し、平成20年現在で、部会員23名、出荷品目61品目、出荷先は7店舗、販売額は3,200万円となっている。



量販店の特設コーナー

5 地域社会への貢献

- ①本取組により、地域内の消費者、量販店及び農業者の3者が、それぞれの要望を満足させる都市近郊ならではの環境保全型農業の形態を創り上げた。同様の取組は、県内の他地域へ広がっている。
- ②量販店の協力を得て、来店する親子約30名との交流会を年3回開催し、混合堆肥を利用して土づくりを行ったほ場での収穫体験等を実施。親子が一緒になって農業生産の実情を知る機会を提供している。